

令和2年度北海道科学技術奨励賞受賞者功績概要

氏名	大久保 直登（41歳）
所属・職名	北海道大学大学院薬学研究院・助教
<p><功績名> 「北海道の酪農未利用資源を活用した新たな医療用移植材の開発」</p> <p><功績の内容> 氏らの研究チームは、「歯のバイオリサイクル医療」技術を世界で初めて開発した。この技術は、自身の抜去歯を移植材料として応用する治療技術として優れた治療成績を収め、現在も最も治療成績の良い治療法のひとつとして支持されている。 氏は、研究活動を行う傍ら歯科医師として本技術を用いて患者を救ってきたが、自家移植を前提としているためリサイクルできる患者本人の歯がなければこの治療法を採用できないという課題を感じていた。 そこで、上記問題を解消するべく、北海道の酪農未利用資源を原材料とした、これまでにない医療用移植材を考案し、ノーステック財団からの継続的な研究開発支援により実用化に向けた研究開発を進め、臨床ニーズに基づいた基盤技術を確立した。その発明は、北海道大学から国際特許出願されている。 また、自ら開発した医療用移植材を患者のもとに届けるため、北海道大学発ベンチャー企業株式会社DeVineの起業に尽力し、現在は同企業の研究顧問を兼任し、製品開発に対する指導を行っている。</p>	

注) 年齢は令和2年（2020年）4月1日現在